

2010 年度後期 労働講座企画委員会寄附講座

「未来の自分をつかめ～先輩たちの働き方から学ぶ」受講上の注意

2010 年 9 月 21 日

コーディネイター 遠藤公嗣（経営学部）

- ・『学部間共通総合講座シラバス 2010 年度』200-203 頁を参照のこと。
- ・本授業用のウェブサイトに関連事項、関係する資料、映像、リンクなどを掲載するので、随時閲覧すること。

<http://www.kisc.meiji.ac.jp/~labored/kifukoza/rodokoza2010.html>

（労働教育メディア研究センターのサイトから入れます。同センター名で検索すれば同センターのサイトは見つかります）

1 講義の概要について

講義の流れ（シラバス参照）

導入・映画『遭難フリーター』を見て考える→OB/OG の働き方から正規労働者の働き方を考える→アルバイト経験から非正規労働者の働き方を考える→働くことを社会的に捉える→私たちのめざす社会のありようを考える→働く者の権利(知識)を学ぶ→まとめ(グループ発表)、レポート提出

労働講座企画委員会：自治労をはじめとする労働組合や労働関係 NGO で構成

講義支援の人々の紹介

労働講座企画委員会の関係者

明治大学経営学部の助手（渡部あさみ）TA（穆小楠ムウショウナン）

明治大学労働教育メディア研究センター客員研究員（高須、青野、山崎）

2 講義中について

講義をビデオ撮影することがある。受講生の顔は写らない。編集の後、一部映像記録を授業のウェブサイト上で公開する。

授業時間の最後に、講師に質問する時間を必ずとるので、講義中に、受講生は質問を考えておく。受講生は、私語厳禁。

3 成績評価について 100 点満点

3-1 毎回の授業時に、出席確認を兼ねた感想文を提出してもらう。これが各 4 点×14 回で計 56 点。

3-2 10 月 5 日の授業時間中にアルバイト実態調査アンケートに記入して提出してもらう。これは 4 点。（したがってこの日は感想文とあわせて 8 点となるので必ず出席のこと）

3-3 最終課題レポートは、40 点で評価する。課題と締め切りは、12 月 21 日までに発表。

4 ドキュメンタリー映画『遭難フリーター』の上映

次週に制作した岩淵監督が来られるので、この映画を見て考えたこと、感じたことや質問をまとめて、感想文に記入して下さい。

5 感想文の回収